中央っ子

たくましく　ゆたかに

学校だより　Ｎｏ．９
令和元年１０月１７日
敦賀市立中央小学校

↓中央小ホームページ

２学期が始まりました

１０月１１日（金）にお子様に１学期の成績通知表をお渡しした後、終業式を行って１学期を終了しました。保護者の皆様・地域の皆様には、これまで学校の教育活動へのご理解とご支援、児童の様子についての見守りや補助で大変お世話になりました。厚くお礼申し上げます。

３日間のお休みの後、１５日（火）から２学期が始まりました。始業式では、日本中に応援の輪が広がっているラグビーと、先週発表があった吉野彰さんのノーベル賞受賞についてお話ししました。（裏面に内容を載せてありますのでご覧ください）

お願い

今年は強い台風がたびたび発生し、各地での被害が報道されています。先日の台風１９号では関東地方・東北地方に大きな被害があり、敦賀市の姉妹都市である茨城県水戸市にも大変な被害がありました。毎年「姉妹都市親善友好少年交歓研修」を行っており、今年も７月に中央小学校から６年生３名が水戸市を訪れ交流をしました。水戸市へのお見舞いの気持ちを込めて、児童会を中心に義援金を集めて送るという取り組みについて検討中です。ご理解とご協力をお願いいたします。

☆☆☆　１０月のキーワードは「力いっぱい」　☆☆☆

毎月の生活目標が生徒指導担当から示され、全校集会で担当者から話をしたり、各学級で考えたりしながら、全校で取り組みを進めています。１０月の目標は「力いっぱい取り組もう」です。本格的な秋を迎え、勉強・読書・スポーツ…何をするにも最適な季節です。

力いっぱい　あいさつ
力いっぱい　マラソン
力いっぱい　そうじ
力いっぱい　学　習

すごいぞ中央っ子！　～クリーン作戦（10/11）～

１学期最終日の午後に、いつも使っている公園や学校の校庭・花壇などをきれいにするクリーン作戦を行いました。集団下校しながら地区ごとに決められた場所で、ごみを拾ったり、草むしりをしたりしました。みんな一生懸命になって公園などをきれいにしました。

高学年が草むしりの仕方を低学年に教える姿や、袋いっぱいなったごみを見せてくれる姿がたくさん見られました。

保護者や地域の方も参加してくださり、ふれあいの中で作業ができたことは大変意義あることです。

中央っ子のがんばりとチームワークに拍手です！

＜２学期始業式の講話＞

2019.10.15

さあ、今日から２学期が始まりました。
３日間のお休みに、皆さんは２学期の準備ができましたか。
お休みの間に、台風１９号で関東・東北など多くの地域に被害がありました。大雨で川の水があふれ、町中が水浸しになったり、土砂崩れで家がつぶされたりして、多くの方がお亡くなりになりました。ご冥福をお祈りしたいと思います。
さて、そのような中、うれしいニュースもありました。２つのお話をします。

まず１つ目。あるスポーツで使うボールです。（写真）今、ラグビーが大人気です。ラグビーはこのボールをパスなどで渡しながら相手ゴールの中へ運び込むと点数が入るスポーツです。日本のチームは外国に比べて体の大きさや力が追いつかずこれまでなかなか勝てませんでした。しかし、９回目となる今回のワールドカップが日本で開かれ、ここですばらしい試合を繰り広げました。予選の４試合で強い外国のチームに次々に勝ち、なんと４試合全部勝利し、初めて決勝へ進出できました。これはとてもすごいことです。
日本のチームは、戦い抜く力をつけるために毎日のように厳しいトレーニングを続け、１人１人の体力とチームの連係プレイを鍛え上げてきました。我慢とあきらめない気持ち、そして相手に倒されながらも、仲間を信じてパスをつなぐチームワークの強さで、初めての決勝進出というすばらしい成果を作り出したのです。
これは日曜日のスコットランドとの試合が終わった後の様子です。「ノーサイド」といって試合では敵同士でも、終わった後は握手をしてがんばりをたたえ合うすがすがしさが見られました。これもラグビーのすばらしいところですね。

もう１つ、今日はノーベル賞のお話をしましょう。
ノーベル賞とは、世界中で長年続けて成果を上げたすばらしい研究や人の役に立つために大変な努力を尽くしたことに対する賞です。
今年も日本人の受賞者がありました。ノーベル化学賞の吉野彰さんです。吉野さんは、リチウムイオン電池というとても便利な電池を研究して作られたことが認められ、すばらしい賞がおくられました。
みなさんもよく知っている道具に入っている電池（バッテリー）で、とても小さいのにたくさんの電気をためておくことができます。乾電池のように使い捨てでなく、繰り返し使えるので環境にもよいですね。携帯電話・スマホが小さくでき、１回の充電で長い時間使える便利なものになりました。パソコンにも使われています。
大きなリチウムイオン電池は電気自動車にも使われ、多くの電気をためてガソリンを使わなくても電気の力で長い距離が走れるようになってきました。また大きな電池にたくさんの電気をためることができ、家での生活で、電気が余っているときにためておき、必要なときに必要なだけ使うという無駄のない電気の使い方ができるようになります。そのような研究も進んでいます。
その吉野さんがインタビューでこんなことを言われていました。
小学校４年生の頃に理科の学習に興味を持って、いろんなことを調べたり本を読んだりしたそうです。それがきっかけとなって研究者の道へ進み、偉大な発明につながったのですね。小学生の時に興味を持ったことを、続けて学んでいくことで、将来の夢につなげることができるということですね。

さて、今日はラグビーとノーベル賞のお話をしました。
興味を持ったこと、決めた目標を、あきらめずに粘り強く続けることが、夢をかなえることや人の役に立つことにつながるのだと思います。
みなさんも夢を抱き、あきらめない気持ちを持ってがんばりましょう！